

群峰 8

富山文学の会

|| 目次 ||

◇巻頭エッセイ

近藤 周吾

作家は二度デビューする

―辺見じゅんの場合―

3

◇研究論文

立野 幸雄

作家とモデルの確執

―「天の夕顔」の光と影―

11

久保 陽子

小寺菊子の労働観と小説「赤坂」に

おける揺らぎの諸相

23

千田 篤

富山県人が起業した出版社、北星堂
書店

―戦前、海外に日本を紹介するこ
とに貢献した出版社―

40

金山 克哉

『人生記銘』についての調査報告

―詩人・高島高の多面性2―

54

丸山 珪一

詩「瀉の風景」

―堀田戦後文学の出發―

76

◇随筆・報告

水野 真理子

翁久允研究を見つめ直して

―翁の人生の軌跡を辿る

115

今村 郁夫

『群峰』編集に生きている経験

123

◇2022年度 活動記録

125